

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パークセンター棟	階数	地上1F
建設地	大阪府高槻市八丁畷町180番1、1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,590時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年10月26日
敷地面積	11,463 m ²	作成者	村井 俊彦
建築面積	2,638 m ²	確認日	2017年10月30日
延床面積	2,469 m ²	確認者	北 伸一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 87%
 ③上記+②以外の 87%
 ④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	4.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	4.0
耐用性	3.4
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.0

生物環境	4.0
まちなみ	4.0
地域性・	4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.8
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	2.5
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	高槻市の安満造跡公園内に、公園事務所・全天候型の屋内施設・ランニングステーション等で形成される複合施設です。またそれぞれの施設の特性を考慮し、全天候型の屋内施設は、乳幼児を含む子どもや保護者が安全・安心に施設を利用できるように計画します。また、パークセンターは市民の活動拠点として公園との連携を図りながら利用できるように配慮します。	その他 付属棟の半屋外空間棟に太陽光発電による自然エネルギーの利用します。その際に発電した電気を施設内の電力として活用します。
Q1 室内環境	開口部は複層ガラスとして、西・南面は熱負荷低減のため、「高遮熱断熱複層ガラス」(LOW-eガラス)を採用し、快適な室内環境へ配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) 建物北側に据え置き型の雨水貯留タンクを設置し、雨水の有効活用を行います。また、地上部を緑化を積極的に行い、地域環境に配慮します。
LR1 エネルギー	自然エネルギーを積極的に活用するため、調光照明を採用する。また、空調を行う居室の開口部は全て複層ガラスとし、熱負荷の低減を図る。建物の庇を大きく計画し、外壁の保護及び日差しの調整	LR3 敷地外環境 北側は住宅地域のため本計画施設のメインとなる出入口は南側とし、北側はバックヤードとしました。北側の住宅地からの空き距離を可能な限り確保した配置計画としました。※本計画施設は、安満造跡公園内に位置します。
Q2 サービス性能	用途が異なる各施設との連携や動線に配慮した単純で位置関係が分かりやすい計画とします。また、地域交流を促す展示コーナー、交流・休憩スペースを設置します。	
LR2 資源・マテリアル	節水型の衛生器具を採用し雨水の一部を植栽用散水に再利用し水資源の保護を図ります。環境負荷の少ない天然材料、廃棄物などの再利用品や再生利用した資機材、低環境負荷材料(エコマテリアル)を内外装材や外構舗装	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0096

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	パークセンター棟					
		建設地	大阪府高槻市八丁畷町 180番1、184番1、273番2、282番					
		用途/区分	集会所 集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			4.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			2.8			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.8			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			4.0	4		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
		技術の名称		考慮事項				
先進的技術の導入		太陽光発電		付属棟(半屋外空間棟)に設置。				
特に配慮した事項								